

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成23年7月21日(2011.7.21)

【公表番号】特表2010-538321(P2010-538321A)

【公表日】平成22年12月9日(2010.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2010-049

【出願番号】特願2010-522932(P2010-522932)

【国際特許分類】

G 0 2 C 7/04 (2006.01)

G 0 2 C 13/00 (2006.01)

A 6 1 L 2/04 (2006.01)

【F I】

G 0 2 C 7/04

G 0 2 C 13/00

A 6 1 L 2/04 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年6月6日(2011.6.6)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

パッケージング溶液及びパッケージング溶液に浸漬されたソフトヒドロゲルコンタクトレンズを含む、封止され、滅菌されたパッケージを含む、眼科用製品であって、

ここで、パッケージング溶液は、

ビニルピロリドンのホモポリマー又はコポリマー（ここで、ビニルピロリドンのホモポリマー又はコポリマーは、25 で約 5 . 0 センチポアズまでの粘度をパッケージング溶液に提供するのに十分な量で存在する）；

約 6 0 0 以下の平均分子量を有するグリセリン又はポリエチレングリコール；

パッケージング溶液中のポリエチレングリコールの酸化分解への感受性を低下させるのに十分な量の - オキソ多酸又はその塩；及び、

約 6 . 0 ~ 8 . 0 の pH を溶液に提供するのに十分な量の一つ以上の緩衝剤を含み、

ここで、パッケージング溶液は、約 2 0 0 ~ 約 4 5 0 mOsm/kg のオスモル濃度を有する

、

眼科用製品。

【請求項 2】

パッケージング溶液が、ビニルピロリドンと少なくとも一つのアミノ基含有ビニルモノマー（ここで、アミノ基含有ビニルモノマーは、炭素原子数 8 ~ 15 のアルキルアミノアルキルメタクリレート、炭素原子数 7 ~ 15 のアルキルアミノアルキルアクリレート、炭素原子数 8 ~ 20 のジアルキルアミノアルキルメタクリレート、炭素原子数 7 ~ 20 のジアルキルアミノアルキルアクリレート及び炭素原子数 3 ~ 10 の N - ビニルアルキルアミドからなる群より選択される）のコポリマーを含む、請求項 1 記載の眼科用製品。

【請求項 3】

ヒドロゲルコンタクトレンズが、シリコーンヒドロゲルコンタクトレンズである、請求項 1 記載の眼科用製品。

【請求項 4】

アミノ基含有ビニルモノマーが、ジメチルアミノエチルメタクリレート又はジメチルアミノエチルアクリレートである、請求項 2 記載の眼科用製品。

【請求項 5】

パッケージング溶液が、25 で約 3.0 センチポアズまでの粘度を有する、請求項 1 記載の眼科用製品。

【請求項 6】

パッケージング溶液が、約 600 以下の平均分子量を有するポリエチレングリコールを含む、請求項 1 記載の眼科用製品。

【請求項 7】

- オキシ多酸が、クエン酸、2-ケトグルタル酸及びリンゴ酸からなる群より選択される、請求項 1 記載の眼科用製品。

【請求項 8】

- オキシ多酸が、クエン酸である、請求項 1 記載の眼科用製品。

【請求項 9】

ヒドロゲルコンタクトレンズが、その中に一つ以上の浸出可能な潤滑剤を含む、請求項 1 に記載の眼科用製品。

【請求項 10】

装用者の初期不快感を緩和しうる、ソフトコンタクトレンズを製造する方法であって、

a) パッケージング溶液を含む容器に、ヒドロゲルコンタクトレンズをパッケージングする工程であって、ここでパッケージング溶液は、ビニルピロリドンのホモポリマー又はコポリマー；約 600 以下の平均分子量を有するグリセリン又はポリエチレングリコール；パッケージング溶液中のポリエチレングリコールの酸化分解への感受性を低下させるのに十分な量の - オキシ多酸又はその塩；及び約 6.0 ~ 8.0 の pH を溶液に提供するのに十分な量の一つ以上の緩衝剤を含み、ここでパッケージング溶液は、約 200 ~ 約 450 mOsm/kg のオスモル濃度を有するものである工程；ならびに

b) パッケージング中のヒドロゲルコンタクトレンズを滅菌してソフトコンタクトレンズを得る工程を含む方法。

【請求項 11】

パッケージング溶液が、ビニルピロリドンと少なくとも一つのアミノ基含有ビニルモノマー（ここで、アミノ基含有ビニルモノマーは、炭素原子数 8 ~ 15 のアルキルアミノアルキルメタクリレート、炭素原子数 7 ~ 15 のアルキルアミノアルキルアクリレート、炭素原子数 8 ~ 20 のジアルキルアミノアルキルメタクリレート、炭素原子数 7 ~ 20 のジアルキルアミノアルキルアクリレート及び炭素原子数 3 ~ 10 の N-ビニルアルキルアミドからなる群より選択される）のコポリマーを含む、請求項 10 記載の方法。

【請求項 12】

ヒドロゲルコンタクトレンズが、シリコーンヒドロゲルコンタクトレンズである、請求項 10 記載の方法。

【請求項 13】

アミノ基含有ビニルモノマーが、ジメチルアミノエチルメタクリレート又はジメチルアミノエチルアクリレートである、請求項 10 記載の方法。

【請求項 14】

パッケージング溶液が、25 で約 3.0 センチポアズまでの粘度を有する、請求項 10 記載の方法。

【請求項 15】

パッケージング溶液が、約 600 以下の平均分子量を有するポリエチレングリコールを含む、請求項 10 記載の方法。

【請求項 16】

- オキシ多酸が、クエン酸、2-ケトグルタル酸及びリンゴ酸からなる群より選択される、請求項 10 記載の方法。

【請求項 17】

- オキソ多酸が、クエン酸である、請求項 10 記載の方法。

【請求項 18】

ヒドロゲルコンタクトレンズが、その中に一つ以上の浸出可能な潤滑剤を含む、請求項 10 記載の方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0004

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0004】

本発明は、他の態様では、装用者の初期不快感を緩和しうるソフトコンタクトレンズの製造方法を提供する。本発明の方法は、a) パッケージング溶液を含む容器に、ヒドロゲルコンタクトレンズをパッケージングする工程であって、ここでパッケージング溶液は、ビニルピロリドンのホモポリマー又はコポリマー（ここでビニルピロリドンのホモポリマー又はコポリマーは、25 で約 5.0 センチポアズまで、好ましくは約 4.0 センチポアズまで、さらに好ましくは約 3.0 センチポアズまで、もっとも好ましくは約 1.2 ~ 約 2.5 センチポアズの粘度をパッケージング溶液に提供するに十分な量で存在する）；平均分子量が約 600 以下であるグリセリン又はポリエチレングリコール；パッケージング溶液中のポリエチレングリコールの酸化分解への感受性を低下させるのに十分な量の - オキソ多酸又はその塩；約 6.0 ~ 8.0 の pH を溶液に提供するのに十分な量の 1 つ以上の緩衝剤；を含み、ここで、パッケージング溶液は約 200 ~ 約 450 mOsm/kg のオスモル濃度を有するものである工程並びに b) パッケージング溶液中のコンタクトレンズを滅菌してソフトコンタクトレンズを得る工程を含む。